

2010年度（平成22年度）国際交流助成募集・推薦要項

1 出張・招聘・集会助成募集・推薦要項

1. 助成対象

生命科学にかかる素材、生物工学、生体防御機構、生体計測、病態生化学等各分野の科学技術に関する研究を目的として、実施される次に掲げる対象に対して、その費用の一部を助成します。

尚、同一学会、研究会、シンポジウム等では、下記（1）集会への助成費用、（2）海外研究者等の招聘費用のいずれか一つの助成とさせて戴きます。

- （1）国内で開始される学会、研究会、シンポジウム等の集会への助成費用
- （2）国内で開催される学会、研究会、シンポジウム等への海外研究者の招聘費用
- （3）海外で開催される学会、研究会、シンポジウム等で口頭発表する出張費用

2. 助成件数、1件当たりの助成金額及び年間総助成金額

- （1）助成件数 15～20件程度／年間
- （2）助成金額 1件につき、20～50万円
- （3）年間総助成金額 400万円／年間

3. 推薦者

当財団の理事・評議員とします。

4. 推薦件数

1推薦者から1件の申請書とします。

5. 申請方法

当財団の国際交流助成申請書（集会・招聘・出張）に従い、必要事項を記入し、両面複写した原本を当財団宛に郵送して下さい（メールでの送付は不可）。申請書はできる限りワープロ作成にてご記入下さい。

尚、学会、研究会、シンポジウム等の集会助成申請書には、募金趣意書、プログラム等を添えて当財団に提出して下さい。

6. 申請期間と助成対象期間

申請期間：2010年4月1日～2010年4月末日

助成対象期間：2010年4月1日～2011年3月末日

7. 選考等について

上記申請期間に従い受け、選考し、理事長の決裁を経て、採否の通知を行います。

8. 助成金の贈呈

原則として、2010年5月以降に指定の金融機関宛に振り込み、贈呈致します。

9. 成果の報告

出張あるいは学会等の終了後、1カ月以内にその経過と成果について、報告して戴きます。

2 アジアからの研究者招待助成募集・推薦要項

1. 助成対象

生命科学にかかる素材、生物工学、生体防御機構、生体計測、病態生化学等各分野の科学技術に関する研究を目的としたもので、国内で開催される学会等へ、今後活躍が期待され、優秀な研究を行なっているアジア地域（中東も含む）の研究者を対象にして学会等への招待費用の一部を助成致します。学会等での口頭発表の可否は問いません。

2. 助成件数、1件当たりの助成金額及び年間総助成金額

- | | |
|-------------|------------|
| (1) 助成件数 | 10件/年間 |
| (2) 助成金額 | 1件につき、20万円 |
| (3) 年間総助成金額 | 200万円/年間 |

3. 推薦者

当財団の理事・評議員とします。

4. 推薦件数

1推薦者から1件の申請書とします。

5. 申請方法

当財団のアジアからの研究者招待助成申請書に従い、必要事項を記入し、両面複写した原本を当財団宛に郵送して下さい（メールでの送付は不可）。申請書はできる限りワープロ作成にてご記入下さい。

アジアからの研究者招待助成申請書には学会、研究会、シンポジウム等の募金趣意書、プログラム等を添えて当財団に提出して下さい。

6. 申請期間と助成対象期間

申請期間：2010年4月1日～4月末日

助成対象期間：2010年4月1日～2011年3月末日

7. 選考等について

上記申請期間に従い受け付け、選考し、理事長の決裁を経て、採否の通知を行います。

8. 助成金の贈呈

原則として、2010年5月以降に指定の金融機関宛に振り込み、贈呈致します。

9. 成果の報告

学会等の終了後、1カ月以内にその経過と成果について、報告して戴きます。

3 海外開催学会等の共同主催者支援助成募集・推薦要項

1. 助成対象

生命科学にかかる素材、生物工学、生体防御機構、生体計測、病態生化学等各分野の科学技術に関する研究を目的としたもので、海外で開催される学会、研究会、シンポジウム等へ、日本人共同主催者として指名され、学会等への協力費が必要な場合、その費用の一部を助成致します。

2. 研究テーマ

当財団の下記助成テーマ範囲内とします。

- (1) 生体成分・細胞・合成薬剤等を組み入れた Combined Devices（複合的・複合型医療機器）
- (2) 医療用先端材料（ナノテクの応用なども含む）

- (3) 低侵襲・QOLの向上に役立つ診断・治療法
- (4) 再生医療（機能再建なども含む）
- (5) 治療目的の次世代医療機器・人工臓器
- (6) 診断・治療を目的とした生体成分・生理活性物質
- (7) 予防医療（感染制御、在宅医療、統合医療など）

3. 助成件数、1件当たりの助成金額及び年間総助成金額

- (1) 助成件数 4件／年間
- (2) 助成金額 1件につき、100万円
- (3) 年間総助成金額 400万円／年間

4. 推薦者

当財団の理事・評議員とします。

5. 推薦件数

1推薦者から1件の申請書とします。

6. 申請方法

当財団の海外開催学会等の共同主催者支援助成申請書に従い、必要事項を記入し、両面複写した原本を当財団宛に郵送して下さい（メールでの送付は不可）。申請書はできる限りワープロ作成にてご記入下さい。

海外開催学会等の共同主催者支援助成申請書には学会、研究会、シンポジウム等からの主催者依頼書、プログラム等を添えて当財団に提出して下さい。

7. 申請期間と助成対象期間

申請期間：2010年4月1日～4月末日

助成対象期間：2010年4月1日～2011年3月末日

8. 選考等について

上記申請期間に従い受け付け、選考し、理事長の決裁を経て、採否の通知を行います。

9. 助成金の贈呈

原則として、2010年5月以降に指定の金融機関宛に振り込み、贈呈致します。

10. 成果の報告

学会等の終了後、1カ月以内にその経過と成果について、報告して戴きます。

4 小規模研究会等の集会助成募集・推薦要項

1. 助成対象

生命科学にかかる素材、生物工学、生体工学等の科学技術に関し、工学の原理・技術を医学へ応用研究することを目的としたものや、社会と医療経済についての研究を目的とした国内開催の小規模研究会への集会及び招聘に助成致します。

2. 対象となる小規模研究会

バイオマテリアル、バイオエンジニアリング、バイオイメージング、医療社会学、医療経済学等

3. 助成件数、1件当たりの助成金額及び年間総助成金額

- (1) 助成件数 4件／年間
- (2) 助成金額 1件につき、100万円

(3) 年間総助成金額 400万円/年間

4. 推薦者

当財団の理事・評議員とします。

5. 推薦件数

1推薦者から1件の申請書とします。

6. 申請方法

当財団の小規模研究会等の集会助成申請書に従い、本人が必要事項を記入し、両面複写した原本を当財団宛に郵送して下さい(メールでの送付は不可)。申請書はできる限りワープロ作成にてご記入下さい。

小規模研究会等の集会助成申請書には学会、研究会、シンポジウム等の募金趣意書、プログラム等を添えて当財団に提出して下さい。

7. 申請期間と募集対象期間

申請期間：2010年4月1日～4月末日

助成対象期間：2010年4月1日～2011年3月末日

8. 選考等について

上記申請期間に従い受付け、選考し、理事長の決裁を経て、採否の通知を行います。

9. 助成金の贈呈

原則として、2010年5月以降に指定の金融機関宛に振り込み、贈呈致します。

10. 成果の報告

学会等の終了後、1カ月以内にその経過と成果について、報告して戴きます。

申請書送付先・連絡先

財団法人 テルモ科学技術振興財団 事務局

〒259-0151 神奈川県足柄上郡中井町井ノ口 1500 番地

TEL : 0465-81-4236 FAX : 0465-81-4237

URL : <http://www.terumozaidan.or.jp>

E-mail : zaidan@terumo.co.jp

申請用紙記入上の注意

1. **研究助成申請には、必ず財団指定申請用紙を使用して下さい。**財団ホームページから雛形がダウンロードできます。申請用紙に必要な事項をワープロで記入（ワープロ貼り付け可能）して下さい。用語は日本語とします。申請用紙は必ず両面印刷し3枚（6頁）以内に収め、申請者所属の事務方を通して郵送にて応募（申請）して下さい。尚、申請書用紙の雛形は、余白：上15mm・下10mm・左右13mm、文字10ポイント、文字数57字、行数56行で作成してあります。財団ホームページ：<http://www.terumozaidan.or.jp/>
2. **主たる研究者：**一般研究助成では、実際に研究を実施する方です。研究実施の代表者ではありません。特定研究助成では、共同研究グループを代表し、研究の遂行（研究成果の取りまとめを含む）に関して全ての責任を持つ方です。
3. **共同研究者の同意書：**特定研究助成の申請の場合のみ必要です。申請書に共同研究者の同意書を添付し、申請して下さい。一般研究助成では、共同研究者の同意書は必要ありません。
4. **申請研究テーマ名：**30字以内にして下さい。
5. **申請研究テーマの対象領域（一般研究助成のみ）：**申請研究テーマの最も適切な領域を一つ指定して下さい。
6. **推薦者：**所属教室・講座の長ではありません。募集・推薦要領を参照して下さい。
7. **主たる研究者の略歴：**最終卒業学校以降を記載して下さい。
8. **本研究テーマに関する他の民間助成機関への申請・採択の有無：**申請（応募）時点で記載して下さい。当財団の選考には関係ありませんので、正確に記載して下さい。
9. **申請内容要約：**わかりやすく必ず400字以内にまとめて下さい。
10. **研究目的または動機：**申請研究テーマの目的は何かを明確にして下さい。生命科学分野でどのように役立てるために行なうとしているのか等々。また、主たる研究者（申請者）がどのようなことからこの申請研究テーマが発想されたのかを記載するところです。
11. **研究実施計画の概要：**どのようにして目的達成ができるのか。現時点で考えられる実験・試験プロセスを記載して下さい。特定研究助成では、共同研究者の役割分担を明確に記載して下さい。また、研究実施にあたり、研究対象者に対する人権擁護上の配慮、研究方法による研究対象者に対する不利益、危険性の排除や説明と理解に関わる状況、実験動物に対する動物愛護上の配慮して下さい。前述の内容について、具体的な取り組みがあれば、ここに記入して下さい。
12. **助成金の使途内訳：**実験機器、実験用具、試薬代等々に分けて大凡の金額を記載して下さい。
13. **この研究テーマに関する研究者の現在までの実績の概要：**「研究目的または動機」との関係がありますので、関連付けを行い、記載して下さい。
14. **このテーマに関する日本および外国での研究の現状：**記載の意味は、独創性・基盤的研究であるかどうかの判断になりますので、申請者が現在把握していることを正確に記載をお願いします。
15. **このテーマに関連する主たる研究者自身の過去5年間の論文の記載：**「研究目的または動機」との関係がありますので関連性のあるものの記載をお願いします。主たる研究者の実績論文の記載ではありません。
16. **その他：**申請書の雛形は、Wordで作成しております。日本語入力環境によって入力の仕方に違いがあります。メニューの「ツール」から「オプション」を選び、「編集と日本語入力」を確認して下さい。日本語入力を「挿入モード」で入力にチェックが入っている場合は、申請書の各項目入力時にマウスで選択（黒に反転）してから書き込むとフォーマットがくずれません。